

父 リオンディーズ  
牡 青毛 2024年4月12日生まれ コスモヴェューファーム



### 母系

母**ピエナビーナス**(04 フジキセキ) 5勝, クイーン S-G3(芝1800m), 羊ヶ丘特別(芝1200m), 下北半島特別(芝1200m), 府中牝馬 S-G3 4着。本馬は第8仔。産駒  
 ピエナトビーズ(14 牝 青鹿 \*トビーズコーナー)兵庫公 8勝  
 ピースフルサンデー(16 牝 青 エイシンフラッシュ) 1勝  
**ウインオーディン**(20 牝 黒鹿 エピファネイア) 2勝, 新潟 2歳 S-G3 2着, 共同通信杯-G3 5着, ◎  
 祖母 \*オープニングタイトル Opening Title(95 Caerleon)愛国産, 不出走。産駒  
 イシヤクガルチ(牡 \*サンダーガルチ)熊本公 2勝, 中央 1勝  
 レディーハンター(牝 フジキセキ)広島公 3勝  
 曾祖母メイドン コンサート Maiden Concert(81 Condorcet)愛 1戦。産駒  
**キャンディ グレン** Candy Glen:英仏伊 6勝, 伊2000ギニー-G1, 伊グランクリテリウム-G1, ダフニス賞-G3, ローマ賞-G1 2着, ヴトリオ ディカプア賞-G1 2着, セレブレイション マイル-G2 2着, ナターレ ディローマ賞-G3 2着, ロッキンジ S-G2 3着, コヴェントリー S-G3 3着, ゴントーピロン賞-G3 3着, パリ大賞典-G1 4着。種牡馬  
**アシュリー パーク** Ashley Park:愛 2勝, 愛ダービートライアル S-G3, 英障 1勝。種牡馬  
**ザトルビー ザ デイ** That'll Be The Day:英伊 4勝, ピサ賞-G3 2着, Premio Seregno-L 2着, Premio Alessandro Perrone-L 3着, Premio Vittorio Crespi-L 3着。産駒  
**ザッツ ザ ウエイ** That's the Way:伊 4勝, Premio Alessandro Perrone-L, プリミパッシ賞-G3 2着  
**ヒドゥンデイル** Hiddendale:英 1勝, ネル グウィン S-G3 3着  
**イムコ チャーマー** Imco Charmer:伊 3勝, バグッタ賞-G3 2着  
**ティヴォリ ガーデン** Tivoli Garden:愛 2勝, ブランドフォード S-G3 4着。産駒  
 パインウッズ リリー Pinewoods Lily:愛 8戦。**デインティ ダンディ** Dainty Dandy(プリンセス マーガレット S-G3 3着)の母

### 母の父

#### フジキセキ

千歳産、最優秀2歳牡馬、4戦全勝、朝日杯3歳S-JPN1(1600m)。主な産駒 イスラポニータ(皐月賞-G1、ダービー-G1 2着)。母の父としてカーマデック(ATCドンカスター マイル-G1)、ヨウセイ(AJCサイアーズ プロデュースS-G1)、ユア ソング(BRC BTCカップ-G1)、サウンドトゥルー(チャンピオンズC-G1)、ホホワイトフーガ(JBCレディスクラシック-JPN1)、ウインマーベル(阪神C-G2、スプリンターズS-G1 2着)を出す

リオンディーズ  
黒鹿毛 2013年

ピエナビーナスの24  
牡 青毛 2024.4.12

ピエナビーナス  
青鹿毛 2004年

キングカメハメハ 鹿毛 2001年	キングマンボ Kingmambo	Mr. Prospector Miesque
シーザリオ 青毛 2002年	*マンファス Manfath	*ラストタイクーン Pilot Bird
フジキセキ 青鹿毛 1992年	スペシャルウィーク	*サンデーサイレンス キャンペンガール
*オープニングタイトル Opening Title (IRE) 黒鹿毛 1995年	*キロフプリミエール Kirov Premiere	Sadler's Wells Querida
	*サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo Wishing Well
	*ミルレーサー Millracer	Le Fabuleux Marston's Mill
	カーリアン Caerleon	Nijinsky Foreseer
	メイドン コンサート Maiden Concert	Condorcet Merdemain

\*サンデーサイレンス 3D×4S, Northern Dancer 5S×5D

### CHECK POINT

母は重賞を勝っており、半兄のウインオーディンが活躍しています。父リオンディーズの産駒はミュージアムマイルが皐月賞を制覇しましたし、テーオーロイヤルが天皇賞(春)を勝つなど、色々なタイプを出しています。本馬はセレクトセールで購入したファハンムーラの24と一緒に放牧しており、よくこの馬に追いかけているのを見かけて心配していたのですが、その効果なのか、見るたびにムキムキになっていて、かえって良いトレーニングになっているようです。早い時期でのデビューを期待できそうですし、朝日杯フューチュリティステークスのように、年末の荒れた馬場も苦にしないと思います。

